



かぞ 市議会だより

発行日／平成30年12月1日

発行／加須市議会

〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1

TEL 0480 (62) 1111(代)

<https://www.city.kazo.lg.jp/>

◎第37号◎

目次

第3回定例会のあらまし……	P 2～3	議案に対する質疑……	P 4～5
委員会の審議内容 ……	P 6～7	議案の審議結果……	P 8～9
議案に対する討論……	P 9	市政に対する一般質問……	P 10～15
意見交換会を開催しました…	P 15	議員活動紹介……	P 16

ジャンボこいのぼりの虫干し（加須はなさき公園・芝生広場において）

第3回 定例会の あらまし

平成30年第3回定例会は、9月3日から10月3日までの31日間の会期で開催しました。

今定例会におきましては、平成29年度一般会計決算をはじめとした市長提出議案25件を審査し、11件を原案可決、2件を原案可決及び認定、12件を認定としました。










なお、詳細につきましては、8ページ及び9ページをご覧ください。

平成29年度 加須市一般会計 決算額

歳入 425億4,969万円 (前年度比4.4%減)
歳出 386億4,651万円 (前年度比6.8%減)
差引 39億 318万円

平成29年度一般会計決算等認定

主な歳入	区分	歳入額	構成比
	市 税	155億1,568万円 (136,698円)	36.5%
	地方交付税	61億2,844万円 (53,994円)	14.4%
	国庫支出金	49億7,338万円 (43,817円)	11.7%
	市 債	36億1,877万円 (31,883円)	8.5%
	繰越金	30億4,195万円 (26,801円)	7.2%
	県支出金	22億4,281万円 (19,760円)	5.3%
	諸収入	12億4,279万円 (10,949円)	2.9%

一般会計の 使いみち (歳出)	民生費	教育費	総務費
			
	149億778万円 (131,343円)	55億4,365万円 (48,841円)	51億178万円 (44,948円)
	公債費	衛生費	土木費
			
	33億3,344万円 (29,369円)	31億4,449万円 (27,704円)	28億8,623万円 (25,429円)
	消防費	農林水産業費	その他 (商工費・議会費など)
			
	16億5,539万円 (14,585円)	12億3,862万円 (10,913円)	8億3,513万円 (7,357円)

() 内の数字は、市民1人当たりの金額です。H30.3.31現在 住民基本台帳人口113,503人
※各数値は単位未満四捨五入のため、合計額などが整合しない場合があります。

平成29年度特別会計・企業会計決算額一覧表

会 計 名		歳出決算額	会 計 名	歳出決算額
住宅新築資金等貸付事業		34万円	国民健康保険事業	147億9,666万円
国民健康保険直営診療所		9,746万円	後期高齢者医療	10億1,746万円
介護保険事業		79億1,782万円	農業集落排水事業	6億1,524万円
不動岡土地区画整理事業		180万円	三俣第二土地 区画整理事業	1,487万円
野中土地区画整理事業		2億5,871万円	栗橋駅西(大利根地区) 土地区画整理事業	3億 768万円
河野博士育英事業		840万円		
水道事業	収益的収支	収入	収益的収支	収入
		支出		支出
	資本的収支	収入	資本的収支	収入
		支出		支出

※単位未満は、四捨五入です。

※企業会計は、経営活動に伴い発生する収益的収支と、将来の経営活動のために行う借入れや施設建設などの資本的収支に区分されます。

また、不足額については、内部留保資金(減価償却費など実際にお金の支出がない費用計上によって生じた資金や利益剰余金)で補っています。

主な議案の一部を紹介します。

一般会計補正予算(第2号)

債務負担行為(50億円)ほか

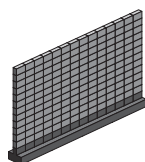


新病院建設の補助金を措置

(仮称) 埼玉県済生会加須医療センター建設工事に対して、平成31年度から3年間で総額50億円を限度額として財政支援を行います。

一般会計補正予算(第3号)

・小学校施設整備事業等9事業
(2,486万6千円)



市内の公共施設のブロック塀の点検調査を実施し、危険と判断されたブロック塀の改修を行う経費です。

・防犯施設維持管理事業

(941万2千円)



防犯環境の向上のため、加須地域の防犯灯372基をLED化するための経費です。これにより、市が管理する防犯灯は全てLED化されます。

一般会計補正予算(第4号)

債務負担行為(26億円)

全幼稚園及び全小中学校の空調設備(エアコン)を一斉に整備し、来年夏の稼働を目指します。

全小中学校30校の普通教室
全幼稚園13園の保育室、管理諸室



平成31年7月一斉稼働を目指す

小中学校30校の特別教室
小中学校の管理諸室



平成31年度中の整備、
平成32年度の稼働に向けて整備する

※整備する範囲を検討した上で整備します。

※債務負担行為…契約などで発生する後年度の債務についてあらかじめ予算で定めておくこと。

私たちが慎重に チェック

可決された 主要な議案と 疑質

加須市議会議員又は加須市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例

議員 一部を改正する条例の内容についてお伺いします。

選挙管理委員会事務局長

公職選挙法の改正により、選挙運動用ビラの頒布が平成31年3月1日以後に告示される選挙から、都道府県または市の議会議員の選挙においても認められることとなり、同時に条例で定めることにより、当該選挙運動用ビラの作成について、公営とすることができるとされました。

今後、選挙管理委員会では、市議会議員選挙の立候補者が誤解を招かないよう、平成31年2月に開催予定の立候補予定者説明会において説明し、周知徹底に努めてまいります。

1枚当たり単価 7円51銭の範囲内
頒布できる枚数
2種類以内で合わせて4000枚以内

大きさ A4判以内（長さ29.7cm、幅21cm以内）

記載内容

制限はなく、両面刷りやカラー印刷可。表面に頒布責任者、印刷者の氏名及び住所を記載

頒布方法

- ・新聞折り込みによる頒布
- ・選挙事務所における頒布
- ・演説会の会場内における頒布
- ・街頭演説の場所における頒布の4方法に限定

※選挙管理委員会が交付する証紙を貼付

頒布期間 選挙運動期間

選挙公営：候補者の選挙

運動の費用の一部を公費負担する制度で、お金のかからない選挙の実現と、資金力のある候補者が有利にならないように、候補者間の選挙運動の機会均等を図るものです。

加須市ともに生きる 手話言語条例

議員 条例制定前と制定後では、どのように変わるのかお伺いします。

福祉部長

本条例は、手話への理解を深め、普及促進を図るための理念条例として、市の目指すべき姿や基本理念など、市としての考え方のほか、市の責務や市民の役割、事業者の役割などについて規定するものです。

現在においても聴覚障がい者へのコミュニケーション支援に関する様々な取組を実施しておりますが、市の最高法規である条例として改めて定めることは、それだけ重みがあることを意味します。

これらの取組がより多くの皆様の目にとまることになるとともに、手話に対する理解を深め、さらなる普及促進につながるきっかけとなると期待しているところです。

平成29年度水道事業 会計利益の処分及び 決算の認定について

議員 平成31年度に八ッ場ダムが完成し、多目的ダムの運用が始まると、県水が値上がりするので、はと心配しています。県水の単価の見直しについてお伺いします。

上下水道部長

本市の水道水源は水道ビジョンに基づき、県水7割、地下水3割を維持し、一三元水源の継続確保と地下水の適正管理に努めております。

県水単価については、1m当たり税抜き61・78円です。この単価は平成28年9月6日付で埼玉県公営企業管理者より、平成29年度以降の県水の料金単価は、今後の水需要や事業計画等を踏まえ、常収支を試算した結果、平成32年度までの4年間は据え置くとのお知らせがありましたので、引き続き料金改定の動向を注視してまいります。

平成30年度一般会計
補正予算(第2号)

《済生会病院誘致事業、
債務負担行為》

議員 (仮称) 埼玉県済生会加須医療センターの建設工事補助金の概要と開設後の運営費に対する財政支援の考え方についてお伺いします。

健康医療部長 この補助金につきましては、埼玉県済生会に対し、新病院の建築工事及び医療機器の整備を支援するためのもので、期間は平成31年度から33年度までの3年間を予定しております。また、上限を50億円とし、その内訳は建築工事40億円、医療機器10億円でございます。これは、現時点での新病院の概算事業費見込みのおおよそ2分の1に相当する額でございます。

市長 新病院の立地は、加須市民病院のな形で考える必要がありますが、

加須市民病院ではないことから、支援の範囲に一定の限度があります。あくまでも今回本市が支援するのは建設費であり、開設後の運営費の補助は考えておりません。

なお、国の制度である特別交付税を活用した救急医療に対する財政支援を済生会に行っておりませんが、この支援については、国の制度がある限り継続してまいりたいと考えております。この点については、済生会との協議の中でも本市の責任の在り方を含めて申し上げているところであります。

名称	(仮称) 埼玉県済生会加須医療センター
病床数	3000床規模
事業費	約130億円
(現時点での概算事業費見込)	
開設時期	2021年10月予定
支援の考え方	建築工事及び医療機器に要する経費のおおよそ2分の1

平成30年度一般会計
補正予算(第3号)

《道路維持管理事業》

議員 加須こいのぼりマラソン大会のコースが変更になること及び道路補修工事の内容についてお伺いします。

生涯学習部長 変更になる加須こいのぼりマラソン大会のハーフコースですが、スタートから花崎陸橋手前の交差点までは

従来どおりのコースとし、変更後のコースでは、当該交差点を左折して東北自動車道側道に入り西に向かい、県道加須北川辺線を通り東北自動車道北側にコースを展開して、手子堀川沿いから浮野の里、豊野郵便局、埼玉園芸市場、JAほくさいカントリーエレベーター、加須学校給食センターを通り、市民運動公園をゴールとするコースとしております。

《公立幼稚園施設整備事業》

議員 騎西中央幼稚園は、騎西小学校の余裕教室を有効活用した再整備が計画されています。保護者の不安を取り除き、理解いただけるよう保護者や関係者に対する説明会への取組や、保護者の声を汲み取った再整備が求められますが、考えをお伺いします。

こども局長 市では、これまで2回にわたり説明

会を開催いたしました。騎西中央幼稚園の再整備事業の目的、騎西小学校との複合化、改修事に係る整備方針及び再整備のスケジュールについて説明し、質疑応答を行いました。様々な視点からの質疑があり、特に多かった質疑の趣旨は、複合化による小学校への影響、小学校児童と幼稚園児が同居することへの安全性の確保に対する心配であり、皆様からいただいた

建設部長 マラソンコースの変更により、新たなコースで舗装補修5箇所と橋りょう補修1箇所の道路補修を実施するものです。



ご意見等を基本設計に反映させております。今後もし引き続き情報提供をしながら、市民の皆様とともに再整備事業を進めてまいります。



委員会の審議内容

各常任委員会は、9月18日、付託された特別会計決算等の16案件（総務常任委員会2議案、民生教育常任委員会7議案、産業建設常任委員会7議案）について審査を行いました。

また、決算特別委員会（各会派から選出された委員で構成）は、9月20日、21日、25日、26日及び28日の5日間で一般会計決算認定について慎重に審査を行いました。

なお、委員会の主な審査内容は次のとおりです。

総務常任委員会

1 議案 可決
1 議案 認定

委員長 小勝裕真
副委員長 松本英子
委員 藤原史子、中條恵子、小坂裕み、酒巻ふみ、吉田健一、鈴木久才、小林信雄、小坂徳藏

《一般会計補正予算(第3号)》

・公共施設におけるブロック塀の安全対策

問 ブロック塀の安全確認は、誰がどのように行ったのか。

答 各施設管理の担当課職員が、国土交通省が示した点検項目に基づき、目視で確認しました。

・防犯施設維持管理事業

問 防犯灯のLED化により、電気料がどのくらい削減できるのか。

答 平成30年7月の単価で、蛍光灯型で月額285・33円かかっていたものが、140・17円となり、145・16円削減できます。

・介護施設整備促進事業

問 スプリンクラーが未設置の施設は、どのくらいあるのか。

答 埼玉県東部消防組合

《住宅新築資金等貸付事業決算認定》

問 未償還者の中で、融資を受けたにもかかわらず建築をしていない件数は、

答 2件が建築をしていない状況です。



・公立幼稚園施設整備事業

問 騎西中央幼稚園複合化に向けての今後のスケジュールは。

答 平成31年度の2学期末までに工事を完了し、3学期中に新園舎の使用を開始し、旧園舎の解体、駐車場の整備を行い、平成31年度中に全ての工事を完了する予定です。

民生教育常任委員会

2 議案 可決
5 議案 認定

委員長 大内清心
副委員長 小林利一
委員 金子正則、新井好一、鎌田勝義、池田年美、及川和子、齋藤和雄、平井喜一郎

《国民健康保険事業決算認定》

問 法定外繰入金は、どのように推移していくのか。

答 平成28年度が8億5500万円強、平成29年度が8億6700万円強で推移しており、繰越金約2900万円と少なく、留保財源もないため、今後も一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況です。

《後期高齢者医療決算認定》

問 人間ドック及び脳ドックの前年度との利用者の比較は。

答 人間ドックが平成28年度70人、平成29年度89人で19人の増、脳ドックが平成28年度18人、平成29年度23人で5人の増となっています。

《介護保険事業決算認定》

問 ふれあいサロンの設置状況は。

答 自治会単位の179箇所の設置を目標としており、平成29年度は、高齢者相談センターで新規に16箇所立ち上げ、合計108箇所の設置となっています。

《重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例》

問 所得制限の基準額の根拠は。

答 国の制度である特別障害者手当の所得基準に合わせた額としています。



産業建設常任委員会

7 議案 認定等

委員長 肇 栗原
副委員長 芳子 野中
委員 正行 本寿子 行
福島 森本 雄 竹内 政 雄 秀 由 恵 田 中 良 夫
佐伯 由 恵 田 中 良 夫

《農業集落排水事業決算認定》

問 16箇所ある農業集落排水施設の今後の改修計画は。

答 今年度は伊賀袋処理区を改修する予定であり、その他の施設は、当面改修の予定はありません。

《加須都市計画事業野中土地区画整理事業決算認定》

問 平成29年度の保留地の公売状況は。

答 8区画を公売しました。

《加須都市計画事業栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業決算認定》

問 区域内の人口は。

答 平成30年7月2日現在で人口は22,262人世帯数は939世帯、計画人口は31,288人です。

《水道事業会計利益の処分及び決算認定》

問 北川辺地域における緊急時用連絡管の整備状況は。

答 平成29年5月に群馬東部水道企業団と共同で整備することについて合意し、今年度設計を行い、平成31年度に工事を実施する予定です。



《下水道事業会計利益の処分及び決算認定》

問 川口地区における整備事業の内容は。

答 平成29年度から平成33年度まで、幹線工事を予定しています。また、平成31年度からは枝線工事を開始し、平成37年度に完成する予定です。

決算特別委員会

1 議案 認定

委員長 良夫 田中
副委員長 和雄 齋藤
委員 寿子 本 正 則 雄 一 健 徳 蔵
森本 金子 竹内 吉田 小坂

《一般会計決算認定》

問 庁舎維持管理事業に
関し、公共施設における
PPS（特定規模電気事
業者）の活用により、ど
のくらい電気料金が削減
されたのか。

答 公共施設80施設に導
入しており、平成29年度
の電気料金では、東京電
力の料金と比較し、年間
で約8500万円削減に
なりました。

問 産婦人科・救急科開
設支援事業に関し、事業
の周知方法は。

答 広報紙やホームペー
ジでの周知に加え、埼玉
県医師会の産婦人科医会
に直接出向き、理事会等
で周知いただくことを継
続して行っています。

問 シルバー人材セン
ター支援事業に関し、事
業拡大に伴う拡張用地の

取得支援とあるが、取得
した土地の活用方法は。
答 シルバーサロンを作
り、会員の福利厚生施設
及び市内の高齢者の憩い
の場として活用してい
くものです。

問 橋りょう維持改良事
業に関し、橋りょう点検
の現状は。

答 1107橋のうち、
平成29年度までに791
橋の点検が終了してお
り、308橋の点検を平
成30年度に行う予定で発
注済みです。残りの8橋
は行政界にあるため、関
係市町と調整中です。

問 洪水避難訓練事業に
関し、初めての広域避難
訓練における改善点は。

答 事前の地域住民への
説明が不十分であったた
め、周知・啓発の充実を
図っていきます。

【現地調査実施箇所】

- ・スポーツ施設整備事業
(加須市民運動公園野球場、野外トイレ)
- ・加須市・羽生市水防事
務組合運営事業（大越水
防倉庫）
- ・道の駅きたかわべ物産
販売施設管理運営事業
(道の駅きたかわべ)
- ・中学校施設整備事業(加
須東中学校、昭和中学校)



決算特別委員会現地調査（大越水防倉庫）

平成30年第3回定例会 議案の審議結果

○…賛成、●…反対、欠…採決時に欠席 ※会派別議席番号順

議案番号	議案名	審議結果	新政会					創政会					国民民主党		公明党			日本共産党		無所属										
			金子正則	齋藤理史	齋藤和雄	小勝裕真	福島正夫	柿沼秀雄	栗原肇	鎌田勝義	鈴木久才	小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂裕	平井喜一朗	松本正行	田中良夫	吉田健一	野中芳子	小林信雄	森本寿子	池田年美	大内清心	中條恵子	佐伯由恵	及川和子	松本英子	小坂徳蔵	酒巻ふみ
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長提出議案	75 平成30年度加須市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	76 平成30年度加須市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	77 平成30年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	表	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	78 平成30年度加須市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	79 平成30年度加須市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	80 加須市個人番号の利用及び特定個人情報に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	81 加須市議会議員又は加須市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	ま	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	82 加須市ともに生きる手話言語条例	可決	○	○	○	○	せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	83 加須市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	ん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	84 損害賠償の額を定め、和解することについて	可決	○	○	○	○	。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	85 平成29年度加須市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	86 平成29年度加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	87 平成29年度加須市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	88 平成29年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	89 平成29年度加須市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
90 平成29年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		
91 平成29年度加須市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		
92 平成29年度加須都市計画事業不働岡土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		
93 平成29年度加須都市計画事業三俣第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		

議案番号	議案名	審議結果	新政会					創政会					国民民主党	公明党		日本共産党		無所属															
			金子正則	齋藤理史	齋藤和雄	小勝裕真	福島正夫	柿沼秀雄	栗原肇	鎌田勝義	鈴木久才	小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂裕	平井喜一朗	松本正行	田中良夫	吉田健一	野中芳子	小林信雄	森本寿子	池田年美	大内清心	中條恵子	佐伯由恵	及川和子	松本英里	小坂徳蔵	酒巻ふみ			
市長提出議案	94 平成29年度加須都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	欠			
	95 平成29年度加須都市計画事業栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	欠	
	96 平成29年度河野博士育英事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	
	97 平成29年度加須市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	98 平成29年度加須市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	99 平成30年度加須市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

反対討論

2017年度事業を詳細に調査すると、市民の立場から容認できない重大な問題があります。第一に敬老祝い金の白寿と百寿の方の祝い金を40%から半額という大幅な減額をしたこと、第二に木造住宅耐震化補助が県内40市の中で最低の水準にあること、第三に費用対効果を全く考えない、マイナンバーカードを利用した住民票等コンビニ交付、第四にプラスチック

議案に対する討論

採決に先立ち、議案に対する討論が行われました。討論の一部を掲載いたします。

平成29年度一般会計決算認定

賛成討論

合併から8年が経過し、本市においては移住・定住促進などの人口減少対策や、済生会病院の誘致をはじめとした今後の医療体制の確保、社会保障制度の問題や公共施設の適正管理、インフラの老朽化対策などが行われ、効果的な施策や事業の実現が図られた年度でありました。

類の中間処理業者による公害発生にかかわる問題、第五に同和行政、同和教育の問題です。市民の願いに反する市政における基本的な問題を指摘し、さらに市民の立場から改善することを改めて強く求め、本案に反対するものです。

まず、平成29年4月に開園したこすもす保育園では、ゼロ歳児保育を開始し、子育て支援の充実を図るとともに、公立保育所入所の待機児童「ゼロ」を堅持してまいります。また、地域医療ネットワーク「とねっと」については、システム更新を行い質の高い医療サービスの提供に取り組んでいます。さらに、東京日本橋での「どんとこい！かぞフェア」への参加や東京スカイツリータウンでの「このぼりフェスティバル」を開催するなど本市のPRを行ったほか、市内の魅力ある農産物や産品を「かぞブランド」に認定し、地域経済の活性化や市のイメージアップに取り組んでいます。

財政の健全性が確実に保たれ、本市の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市かぞ」の実現に向け取り組んでいるものと評価できることから、本案に賛成するものです。

ここが聞きたい!

市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、18人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に11～15ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧いただくことができます。

- 竹内政雄議員（創政会）**
 - 株式会社かぞ農業公社について
 - 学力調査について
 - 太陽光発電について
- 森本寿子議員（公明党）**
 - 教育行政について
 - 災害対策について
 - 健康寿命の延伸について
- 大内清心議員（公明党）**
 - 胃がんリスク検診（ABC検診）対象拡大について
 - 学校施設及び通学路におけるブロック塀等の安全確保の推進について
 - 災害から命を守る情報発信について
 - 児童虐待防ぐための体制強化について
- 中條恵子議員（公明党）**
 - 「災害廃棄物処理計画」策定について
 - 高齢者健康支援対策について
 - 胃がん検診の充実について
 - 水害時広域避難について
 - 教育環境の整備について
- 池田年美議員（公明党）**
 - 小学生の教科書等の持ち帰りについて
 - 記号式投票について
 - 救急医療について
 - 高齢者の見守りについて
- 新井好一議員（創政会）**
 - 柳生駅のバリアフリー化について
 - 防災、減災の取組について
- 田中良夫議員（創政会）**
 - 栗橋駅西（大利根地区）区画整理事業地内の整備について
 - 住宅の水圧不足について
 - 市道の埋設物について
- 金子正則議員（新政会）**
 - 中学校の部活について
 - 平成24年度より必修化された武道について
 - 北中曾根北大桑バイパスについて
- 平井喜一朗議員（創政会）**
 - 人口減少について
 - 有給休暇の消化について
 - デマンドバスの運行について
- 野中芳子議員（国民民主党）**
 - LGBTの理解促進と支援体制について
 - 市道の道路側溝の管理状況について
 - 住宅改修補助事業について
 - 小野袋地域の排水について
- 齋藤理史議員（新政会）**
 - 交通指導員について
 - 職員の表彰について
 - 姉妹都市について
 - 防災ノートについて
- 鈴木久才議員（創政会）**
 - 市役所本庁舎駐車場満杯改善及び出入りの安全対策について
 - 市内病院専用デマンドバスについて
 - ちよこつとおたすけ絆サポート事業について
- 小林利一議員（創政会）**
 - 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中の人ロビジョンについて
 - 生活保護事業について
 - 不妊治療事業について
- 小林信雄議員（国民民主党）**
 - 災害につよいまちづくりについて
 - 空家対策について
- 松本英子議員（日本共産党）**
 - 児童・高齢者の虐待防止について
 - 子育て支援について
 - 童謡のふる里おおとね農業創生センターについて
- 及川和子議員（日本共産党）**
 - 高齢者相談センターの拡充
 - 防災対策について
 - コミュニティバスの運行改善
 - がん検診の拡充について
- 佐伯由恵議員（日本共産党）**
 - 障がい者の雇用と促進について
 - 子どもの健康と部活動について
 - 教員の長時間労働解消について
 - 騎西地域公立幼稚園の送迎バス運行について
- 小坂徳蔵議員（日本共産党）**
 - 介護保険制度について
 - 廃棄物中間処理業者の公害根絶について
 - 通学路沿いブロック塀の安全対策について
 - 公立学童保育の待機児童解消について

学力向上に向けた取組を

竹内 政雄 議員

竹内 文部科学省で実施している全国学力・学習状況調査の結果では、埼玉県は全国47都道府県中34位であり、本市は各教科とも県の平均点より低く、子どもたちの学力が心配されます。教育委員会が学力向上の方向性を教員に伝授し、その気持ちが必要であると思いますが、本市の教育方針について伺います。

SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえた教育について

森本 寿子 議員

森本 全国学力・学習状況調査の結果から、活用力を高める学習にESD（持続可能な開発のための教育）カレンダーが効果的であるということで、市はESDカレンダーを導入すべきと思います。また、SDGsを踏まえたカリキュラムマネジメントは、主体的・対話的で深い学びにつながります。こうした教育に改善することも大切だと思いますが、考えをお伺いします。

学校教育部長 本市においては、ESDカレンダーよりも、詳細な年間計画を作成し活用しておりますので、導入は現在検討しておりません。

教育長 現在推進している地域密着型の教育や保・幼・小中一貫教育は、SDGsの理念と同様であります。今後子どもたちが未来を切り開いていくことができるように、「生きる力」の育成に取り組んでまいります。

学校施設及び通学路におけるブロック塀等の安全確保について

大内 清心 議員

大内 大阪北部地震による事故を受け、翌日には、公立保育園、幼稚園、小・中学校敷地内のブロック塀等の緊急点検を実施し、危険な学校では既に工事に取りかかっていると報告を受けましたが、安全性に問題のあるブロック塀等の工事着手までの安全確保及び民間ブロック塀等の撤去費用等の支援について考えをお伺いします。

生涯学習部長 外観点検で建築基準法施行令に適合しないブロック塀等については、各校長宛に接近防止対策の実施を通知いたしました。これを受け各小・中学校では、張り紙をしたり、カラーコーンや安全バーの設置などでの注意喚起を既に実施し、安全確保に努めているところです。

建設部長 個人の財産であるブロック塀等への補助となるため、公平性の観点から補助金制度の創設は考えておりません。

大越地区・樋遣川地区の水害時広域避難について

中條 恵子 議員

中條 先日行われた東京大学大学院の片田特任教授による講演会で、大越地区と樋遣川地区が広域避難の対象地区に加えられたことを知りました。今年度は新しい水害対応のハザードマップを作成し、全戸配布すると伺っています。住民への周知及び避難場所について伺います。

環境安全部長 国土交通省から新たに公表された家屋倒壊等氾濫想定区域に大越地区と樋遣川地区の一部の地域が入っていたことから、地域防災計画を見直し、広域避難の対象地区としました。さらに、災害時要援護者を優先とする避難場所として、加須西中学校及び田ヶ谷総合センターに加え、むさしの村ファミリア館、さくらホール及び駐車場全面を避難先といたしました。今後、両地区の皆様を対象とした広域避難に関する研修会を実施する予定でございます。

小学生の教科書持ち帰りの自由化について

池田 年美 議員

池田 校長・園長研究協議会で、教育長から児童・生徒の登下校時の荷物の軽量化に配慮するように促したと伺いました。しかし、現状は各学校の考え方に任せている状況です。重いランドセルを背負い続けた場合、体への負担が心配です。教科書等の持ち帰りの自由化を市が統一して促していただきたいと思いますが、考えをお伺いします。

教育長 教科書及び学習道具を持ち帰ることで整理整頓能力や、予習・復習等の学習習慣の定着、学習道具の確認等、生活能力を育成できます。このため、各学校が、児童・生徒の発達段階や学習上の必要性、通学の負担を考慮し判断すべき事項であると考えております。子どももの安全面、健康面に留意した負担過重とならない荷物の持ち帰りを常に念頭に置き、今後も継続して見守ってまいります。

柳生駅バリアフリー化への考えは

新井 好一 議員

新井 市長の施政方針では、柳生駅のバリアフリー化の要望活動を行い、実現に向けて取り組むことが示されました。実現には東武鉄道の理解と国の支援が必要です。今後、道の駅きたかわべを拠点とした周辺の一体的な活用や、高齢者や障がい者にとっても、バリアフリー化を推進することが必要であると思いますが、考えをお伺いします。

市長 国も高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律を緩和し、バリアフリー化に積極的に取り組んでおり、平成26年度には、新古河駅のバリアフリー化工事を実施しました。柳生駅は、乗降客数が年々減少しておりますが、渡良瀬遊水地を中心とした地域の振興、活性化への努力をしながら、東武鉄道、国・県に対しバリアフリー化に向け、要望活動を続けてまいります。

栗橋駅西(大利根地区)区画整理事業地内の整備について

田中 良夫 議員

田中 実質的には栗橋駅西(大利根地区)の区画整理事業は完了していますが、公園内には日陰も水飲み場もトイレもなく、未完成です。公園の利用方法は地元自治協力団体等と十分相談し検討していくとのことでしたが、いまだに相談もなく地元も市へ毎年要望している状況です。市の財政は厳しい状況にあるとは思いますが、考えをお伺いします。

市長 この事業は総事業費約64億円のうち、補助金が約8億円、保留地処分金が約8億円、残りは一般財源約48億円と一般財源の投入率が非常に高く、この地区以外の方の税金も含まれています。公園整備についての要望も十分承知しておりますが、市全体の財政状況から見ると、今の状況で地域の方に使っていただくことで、ご理解いただきたいと思えます。

中学校部活動の外部指導者の充実について

金子 正則 議員

金子 長時間労働の要因である部活動の指導は、働き方改革で見直しが議論され、今年3月、スポーツ庁は中学校、高校の運動部の活動に関するガイドラインを公表しました。これを受け、他市では企業や大学などによる部活動応援隊の発足や、部活動指導員の拡充などに取り組んでいます。本市の外部指導者と顧問との連携についての考えをお伺いします。

学校教育部長 現在、外部指導者は学校応援団として42名に登録いただいております。顧問と連携、協力して技術的な指導や生徒の精神的な支えとして力添えをいただいております。また、市の部活動の方針を、教職員の負担軽減と生徒の健康管理の観点から策定しております。外部指導者の人材の発掘に引き続き努めながらさらなる充実に取り組んでまいります。

人口減少対策についての考えは

平井 喜一郎 議員

平井 合併時、約11万7000人の人口が、現在は約11万3000人です。約8年間で加須地域は1.2%、騎西地域は4.9%、北川辺地域は10.2%、大利根地域は4.4%人口が減少しています。今後の政策に反映するため、減少率の違いや人口の動向を分析することが必要です。特に北川辺地域の減少率が高いことから、対応する方策についての考えをお伺いします。

市長 北川辺地域の人口減少の要因には、都市計画区域がないなど土地利用の問題があり、対応する方策としては、農振農用地以外の区域の開発を積極的にPRするとともに、民間開発を支援していきたいと考えております。併せて一時的に市外に転出して、Uターンして戻っていただけるよう、住みやすい地域づくりを力を入れてまいりたいと考えております。

LGBTの理解促進と支援体制について

野中 芳子 議員

野中 LGBTなどの性的少数者への差別や偏見をなくし、性の多様化を尊重するための啓発への取組、相談体制、公文書への性別表記及び誰もが安心して暮らすためパートナーシップ制度導入への考えをお伺いします。

総務部長 啓発の取組としては、広報紙やホームページ等への掲載による周知、また、相談体制としては、人権・男女共同参画課のほか、人権相談、女性相談等でも応じており、福祉関連部署等とも連携してまいります。性別表記につきましては、申請書や証明書等で配慮が必要なものを含め、関係各課に照会を行っているところです。

市長 同性パートナーシップ制度等の支援策につきましては、市民の皆様の理解度が重要であるという観点も含め、ご意見を伺いながら、さらに研究をさせていただきます。

防災ノートについて

齋藤 理史 議員

齋藤 過日会派の行政視察に伺った青森県八戸市は、東日本大震災の津波に襲われ、甚大な被害を受けました。過去の自然災害を踏まえ、子どもたちの防災意識を高めようと、教育委員会が「防災ノート」を作りました。先日参考に教育長にお渡ししたこの「防災ノート」についての感想をお伺いします。

教育長 八戸市の「防災ノート」をコピーさせていただき持ち歩いております。枚数的には多くありませんが、要点はつかんだものであります。教育委員会では、教師が児童生徒にどのような指導するかということをサポートとした「加須市防災教育指導資料」を作成し活用してまいりました。八戸市の場合も児童生徒がいざという時にどのような行動かということ想定しており、参考にすべきこととっております。

ちよこつとおたすけ絆サポート事業について

鈴木 久才 議員

鈴木 誰が必要とし、誰がサポートできるのか、把握できるのは町内会だと思えます。ちよこつとおたすけ絆サポート券を町内会で運営することで、行政ができない隙間を埋めることができると思います。低予算で必要としている人の満足、サポートした人の生きがい、人間関係による安心・安全な地域をつくることになると思いますが、考えをお伺いします。

経済部長 大越地区では、絆サポート事業を地域住民主体で平成27年10月から始めており、利用者、サポーターともに地元住民であることから、安心して通院や買い物に利用されているところです。

地域の共助の支え合いの仕組みである絆サポート事業の拡大に向け、各町内会等でこの事業の活用について、検討していただければと考えております。

生活保護費を削減するための方策は

小林 利一 議員

小林 生活保護を受給する高齢者が増えていることにより、医療や介護費用などが公費負担となるのが、事業費を押し上げている一つの要因になっているとのこと。毎年人口も減少しており、その影響は税収にもつながっていきます。年々増加する生活保護費を削減するための方策について伺います。

福祉部長 働くことができない方、就労を希望する方には、就労支援を行い、自立を目指しております。また、医療扶助削減のため、ジェネリック医薬品の使用を呼びかけております。さらに不正受給防止のため、適正な収入申告の呼びかけや課税調査を実施し、収入額を毎年確認しております。今後も健康で文化的な最低限度の生活保障を守りつつ、可能な範囲で削減を図るよう努めてまいります。

防災情報の発信について

小林 信雄 議員

小林 災害によっては、雨音や雨戸が閉め切った状態などで防災無線が聞こえない状況にあります。SNSは多くの人が利用している情報発信ツールであり、行政からの情報が一番信用できるものです。災害の発生が予想できるころからリアルタイムで状況に応じて、ホームページやスマートフォンなどのトップページに状況をアップすることができないのか伺います。

環境安全部長 市のホームページ及び市公式スマートフォンアプリ「かぞつぷ」のトップページに「いざというときに」というコーナーを設け、「大雨や台風に備えて」というページへのリンクを掲載し、台風や雨量、河川水位などの情報を分かりやすくまとめております。また、避難等に関する発令情報の欄を設け、災害時に各種情報を掲載するよう準備しております。

道の駅童謡のふるさととおとねの駐車場レイアウト変更についての考えは

松本 英子 議員

松本 現在、道の駅童謡のふるさととおとねの駐車場は、大型車が中央に、乗用車は店舗から遠い北側にあります。高齢者の安全やお客様のスムーズな駐車や買い物に考慮し、駐車場西側の加須北川辺線沿いに大型車を駐車し、中央にお客様の車を止められるようレイアウトを改善していただきたいと思っております。行田県土整備事務所への申し入れについて伺います。

市長 駐車場のレイアウトについては私も疑問に思い、合併直後に県へ申し入れをしました。が、発足当初に地元からの要望があり、変更は難しいとお話でした。そのため、南側の砂利の駐車場へ通じるような方策をとらせていただきました。今後とも、この駐車場のレイアウトを何とか変更できるように、機会があるたび繰り返し県へ要望してまいります。

避難所の環境と質の向上を

及川 和子 議員

及川 地震や災害で避難した人が、避難所生活で体調を崩すなどして命を亡くす災害関連死の問題がクローズアップされており、避難所の環境と質の向上が問われています。食事よりもトイレの環境維持が難しい避難所では、水分を摂ることを控えたことで血栓ができ、命を落とすことのないよう、簡易トイレ等の備蓄拡充について伺います。

市長 トイレ等の避難所の備品につきましては、まだ十分とはいえませんが、毎年少しずつ備蓄を重ねております。報道等によると発災直後は、避難所に多くの方が避難しますが、徐々に親戚等を頼って避難していくなど、長期に残る方は減少していく状況が見られるため、このことも踏まえた避難所の備蓄状況や運営を考えていくことも必要ではないかと考えております。

子どもの健康と部活動 について

佐伯 由恵 議員

佐伯 部活動は生徒が自主的に活動するところです。ところが活動が長時間で休養日もなく、保護者から健康を心配する声が上がっています。スポーツ庁のガイドラインや県の方針では、週2日の休養日、活動時間は約2時間と定めています。生徒や教員の過度な負担にならないよう、ガイドラインにそって本市の部活動の実施方針の見直しが必要と思われませんが、考えをお伺いします。

学校教育部長 国や県のガイドライン等を踏まえて、今年度中に本市における部活動の方針を新たに策定し、平成31年度から運用していく予定です。

教育長 部活動の教育的意義や、生徒と顧問の負担が過度にならないように、参加する大会やコンクール等を精査するよう各学校の校長を指導してまいります。

待機児童解消に向けて

小坂 徳蔵 議員

小坂 子育て世代が貧困と格差の影響を受け、共働き家庭が急増したことにより、学童保育を希望する保護者が増加しています。6月時点の待機児童は49人でしたが、現在の状況と7月に全戸配布した指導員募集チラシの成果、さらに指導員不足を解消するため、引き続き市民に協力を求める必要があると思いますが、考えをお伺いします。

こども局長 公設公営の放課後児童健全育成室の通年利用者の待機児童数は、児童を受け入れる施設を整備した結果、9月1日現在で23人となっています。また、7月以降通年勤務できる指導員を新たに7人採用いたしました。現在も指導員が12人不足しております。そのため平成31年度を見据え、募集チラシの全戸配布など指導員の確保に努め、待機児童の解消を図ってまいります。

平成国際大学学生との意見交換会を開催

10月29日(月)、本年5月1日付けで締結した「加須市議会と平成国際大学との連携協力に関する協定」に基づき、各議員が市政及び市議会に対する若い世代からの意見を議会活動に生かすとともに、学生が市政及び市議会への関心を高めることを目的として、学生との意見交換会を開催しました。



議会傍聴

9月20日(木)、平成国際大学の学生が、本市の昨年度の事業実績に係る案件を審議する決算特別委員会を傍聴しました。

第3回定例会 会期日程

- 9. 3(月) 本会議
- 9. 10(月) 本会議 (議案質疑)
- 9. 11(火) 本会議 (一般質問)
- 9. 12(水) 本会議 (一般質問)
- 9. 13(木) 本会議 (一般質問)
- 9. 14(金) 本会議 (一般質問)
- 9. 18(火) 常任委員会
- 9. 20(木) 決算特別委員会
- 9. 21(金) 決算特別委員会
- 9. 25(火) 決算特別委員会
- 9. 26(水) 決算特別委員会
- 9. 28(金) 決算特別委員会
- 10. 3(水) 本会議



議員活動紹介

—こんな事業に参加しました—



加須市総合防災訓練
8月25日(土) 北川辺中学校において



加須市議会議員企業訪問研修
8月9日(木) 市内企業において
(ブリヂストンフローテック株式会社MDセンター、
フジッコ株式会社関東工場、株式会社湖池屋関東工場)



第26回「治水の日」継承式典
9月16日(日) パストラルかぞにおいて



第38回加須地域市民まつり
10月14日(日) パストラルかぞにおいて

編集後記

いつまで続くのだろうと思われた今年の猛暑、酷暑でしたが、暦をめぐっていくうちに街路樹の葉もだんだんと赤や黄色の彩りを増しています。さて、9月議会では平成29年度の事業が適正に執行されたかを審査するために、決算特別委員会が設置されました。今回、平成国際大学の学生が加須市議会を視察し、委員会を真剣に傍聴されました。将来のある若者が議会に興味を持ち、行動されている姿に新しい息吹を感じ、加須市の明るい未来を期待せずにはいられませんでした。

今後も市民の皆様により分かりやすく、親しみの持てる議会を目指し努力してまいります。

(編集委員 池田年美)

市議会だより編集委員会

委員長	鈴木久才	副委員長	金子正則
委員	佐伯由恵	小坂 裕	小勝裕真
	池田年美	小林利一	齋藤理史

あなたも議会を傍聴しませんか。

議会の傍聴は、市政の方針等を知る良い機会です。

平成30年第4回定例会は、11月27日から行われています。皆様の傍聴をお待ちしています。

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

